

IR

第51期第3四半期
営業のご報告

2014年4月1日～12月31日



■ 中国広東省広州市に孫会社を設立しました

2014年5月、中国広東省広州市に「味堪(広州)餐飲管理有限公司」を設立し、同年12月に開業式を開催しました。

同社は、あじかんの100%出資子会社である「味堪香港有限公司」が100%出資する現地法人で、健康と日本の食文化を中国の消費者のみなさまにご提供し、中国においてあじかんブランドを確立することを目的として活動しています。

現在はイベント企画業務が中心で、OL、主婦、子供、あるいは食品業界に携わる人々を対象に定期的に「巻寿司教室」や「親子寿司教室」などを開催しています。今後は、これらの活動を事業化し、ユネスコ無形文化遺産である「和食」文化をさらに広めてまいります。

また、現在は市場調査の段階ですが、いずれは中国国内で、あじかんの食材を最大限に生かしたテイクアウト巻寿司の専門店を展開したいと考えています。そこで得られたさまざまな情報をもとに現地の嗜好に合わせたメニュー開発などを行い、さらなる販路拡大に取り組んでまいります。



【商 号】味堪(広州)餐飲管理有限公司

【本店所在地】中国広東省広州市越秀区建設六馬路青菜崗街48号503室

【代 表 者】中谷 登 ※董事長(法定代表者)

【事業内容】・飲食管理に関するコンサルティング業務
・飲食プロジェクトの企画
・和風ファスト・フードの加工と販売
・酒類と食品の輸出入、卸売および小売

【資 本 金】450万円(約8,000万円)

【設立年月日】2014年5月5日



■ 『焙煎ごぼう茶』の製造方法で特許を取得しました

2014年12月、あじかんは、ごぼう茶の製造方法に関する特許を取得しました。

ごぼう茶は、当社が発売した2010年12月以降、急速に市場が拡大し、現在では、杜仲茶やハトムギ茶などと並んで健康茶の定番商品として認知されてきております。

本特許は、表皮を含む生のごぼうを加熱処理するごぼう茶葉の製造方法であり、この製法によって甘味成分であるフルクトース(※)を増加させ、「あじかん焙煎ごぼう茶」の特徴でもある「甘味」や「こく味」を付与することができます。また、加熱処理を行うことで、ポリフェノールの酸化を抑え、より多くの有効成分を残すことが可能となり、高い抗酸化能を実現しています。

本特許には、ごぼうを美味しく加工する条件が詰まっており、細胞を極力破壊せずに加工することが、美味しさと高い抗酸化活性の両立のポイントです。本特許の取得により、今後さらに利用用途を拡大させていく所存です。

※フルクトース(果糖)

果物に多く含まれており、天然の糖の中で最も甘い。ごぼうの食物繊維であるイヌリンは、主にフルクトースからできており、分解することで「甘味」や「こく味」を付与することができる。



特 許 名 称	ごぼう茶葉、これを用いたごぼう茶葉抽出液及びごぼう茶葉含有食品、並びにごぼう茶葉製造方法
特 許 番 号	特許第5661263号
特 許 出 願 日	2009年8月24日
特 許 取 得 日	2014年12月12日
特 許 権 者	広島市西区商工センター七丁目3番9号 株式会社あじかん



■ 第3四半期 連結貸借対照表

科目	前連結 会計年度	当第3四半期 連結会計期間
	2014年3月31日現在	2014年12月31日現在
(資産の部)		
流動資産	9,434	※1 11,885
現金・預金	1,468	738
受取手形・売掛金	4,193	6,604
商品・製品	2,226	2,635
仕掛品	5	1
原材料・貯蔵品	932	1,155
繰延税金資産	130	124
その他	547	731
貸倒引当金	△ 70	△ 106
固定資産	8,797	※2 8,907
有形固定資産	6,803	6,761
建物・構築物	1,948	1,894
機械装置・運搬具	1,162	1,169
土地	3,371	3,371
リース資産	60	79
その他	260	246
無形固定資産	185	168
ソフトウェア	106	84
リース資産	45	50
その他	33	33
投資その他の資産	1,809	1,977
投資有価証券	793	984
繰延税金資産	7	—
その他	1,190	1,171
貸倒引当金	△ 182	△ 178
資産合計	18,232	20,793

(単位:百万円)

科目	前連結 会計年度	当第3四半期 連結会計期間
	2014年3月31日現在	2014年12月31日現在
(負債の部)		
流動負債	7,413	※3 9,249
支払手形・買掛金	2,622	3,950
短期借入金	3,195	3,607
リース債務	54	61
未払法人税等	14	168
賞与引当金	229	112
役員賞与引当金	—	24
その他	1,297	1,324
固定負債	1,210	※4 1,636
長期借入金	574	951
リース債務	95	107
繰延税金負債	—	67
役員退職慰労引当金	350	366
退職給付に係る債務	141	94
資産除去債務	47	47
その他	1	1
負債合計	8,623	10,886
(純資産の部)		
株主資本	9,263	9,379
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,098	1,098
利益剰余金	7,126	7,242
自己株式	△ 64	△ 64
その他の包括利益累計額	345	527
その他有価証券評価差額金	192	313
繰延ヘッジ損益	1	6
為替換算調整勘定	260	301
退職給付に係る調整累計額	△ 109	△ 94
純資産合計	9,608	※5 9,906
負債及び純資産合計	18,232	20,793

注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※1 流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,451百万円増加し、11,885百万円となりました。
主な増減要因は、繁忙期の売上高増加に加え、四半期連結会計期間末銀行休業日の影響による受取手形・売掛金の増加2,410百万円、販売政策に伴う商品・製品の増加408百万円、原材料の備蓄による原材料・貯蔵品の増加222百万円、現金・預金の減少729百万円であります。

※3 流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,836百万円増加し9,249百万円となりました。
主な増減要因は、繁忙期に伴う仕入高増加や、四半期会計期間末銀行休業日の影響による支払手形・買掛金の増加1,327百万円、短期借入金の増加412百万円、未払法人税等の増加154百万円、賞与引当金の減少117百万円であります。

※5 純資産合計は、前連結会計年度末に比べ298百万円増加し9,906百万円となりました。
主な増減要因は、四半期純利益の計上194百万円に加え、その他有価証券評価差額金の増加121百万円、為替換算調整勘定の増加41百万円、剰余金の配当による減少91百万円であります。

※2 固定資産は、前連結会計年度末に比べ109百万円増加し8,907百万円となりました。
主な増減要因は、所有銘柄の株価上昇に伴う投資有価証券の増加191百万円、有形・無形固定資産の減価償却の進行に伴う減少によるものであります。

※4 固定負債は、前連結会計年度末に比べ426百万円増加し1,636百万円となりました。
主な増減要因は、政策的な借入実行による長期借入金の増加377百万円、投資有価証券の評価益拡大による繰延税金負債の増加67百万円であります。

■ 第3四半期 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間
	2013年4月1日～ 2013年12月31日	2014年4月1日～ 2014年12月31日
売上高	26,845	※6 27,775
売上原価	20,727	21,599
売上総利益	6,118	6,175
販売費及び一般管理費	6,063	6,146
営業利益(損失△)	54	28
営業外収益	231	433
営業外費用	27	58
経常利益(損失△)	258	403
特別損失	4	4
税金等調整前四半期純利益(損失△)	253	399
法人税等	184	205
四半期純利益(損失△)	68	※7 194

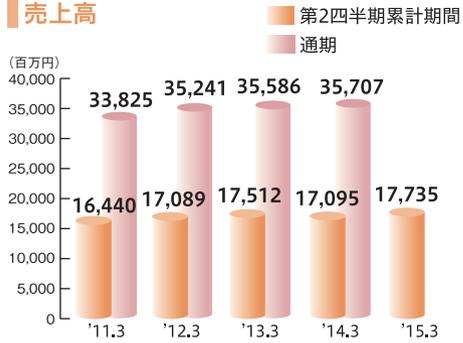
※6 季節ごとのイベントに合わせた販促活動や、主要都市・新規エリアでの展示会の開催、新製品・リニューアル品を軸とした新興開拓の強化、新業態への開拓などを積極的に行った結果、主要顧客であるスーパーマーケットやコンビニエンスストア向けの需要が増加しました。また、市販向けの焙煎ごぼう茶と関連製品の売上もほぼ計画どおりに増加しました。

※7 鶏卵や椎茸などの主要原材料の価格が前年同四半期と比較して上昇したことに加え、急激な円安の進行による外貨建て輸入品の仕入価格上昇や副材料・補助材料費の上昇などにより、売上原価率は上昇し業績を圧迫しました。その結果、営業利益は前年同四半期を下回ったものの、円安に伴うデリバティブの時価評価益や為替差益の計上により、経常利益、四半期純利益ともに前年同四半期を上回りました。

注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結業績の推移

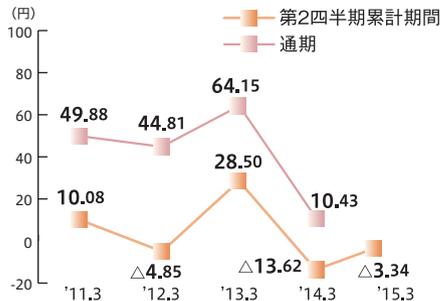
売上高



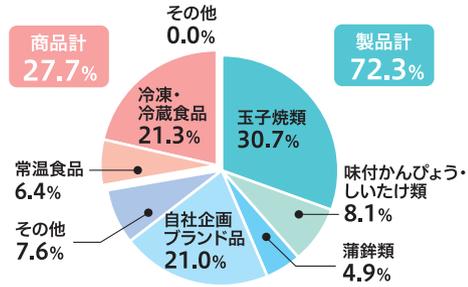
当期(四半期)純利益(損失△)



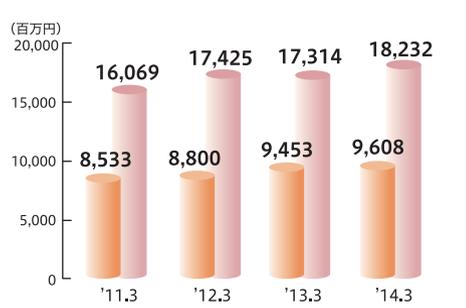
1株当たり当期(四半期)純利益(損失△)



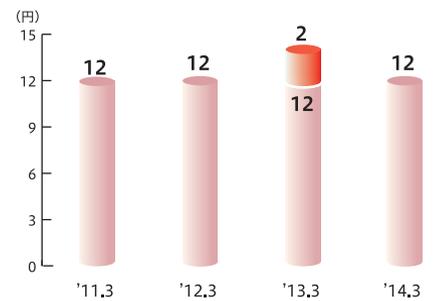
売上構成比('15年3月期 第2四半期累計期間)



総資産・純資産



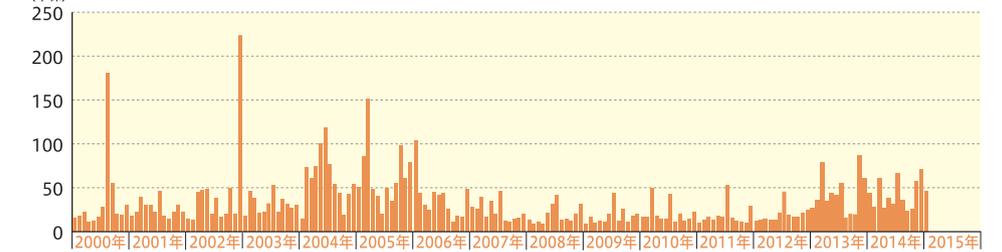
1株当たり配当金



注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株価・売買高の推移

証券コード：2907



日経平均との比較表示



IR Information

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 (定時株主総会) 3月31日
(期末配当) 3月31日
(中間配当) 9月30日(当期中間配当は未実施)
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)
- 上場証券取引所 東証2部
- 公告の方法 電子公告
(公告掲載URL) <http://www.ahjikan.co.jp>
※やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載する方法で行います。

【ご注意】

1. 株主さまの住所変更など各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でも、お取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で、お支払いいたします。

会社概要

- 商 号 株式会社あじかん (AHJIKAN CO.,LTD.)
 設立年月日 1965年3月19日 (創業 1962年)
 主要な事業内容 卵加工製品・野菜加工製品・水産練製品・その他食品の
 製造、販売、および卸売、農産物の生産、販売



- 小誌についてのご意見は『膳』P.18のお便りコーナーまでお寄せください。●